

# 第6回上津屋橋（流れ橋）あり方検討委員会

## 会 議 次 第

日 時：平成28年1月26日(火)  
14時から16時まで  
場 所：やわた流れ橋交流プラザ  
四季彩館 2F会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 前回検討委員会の概要について

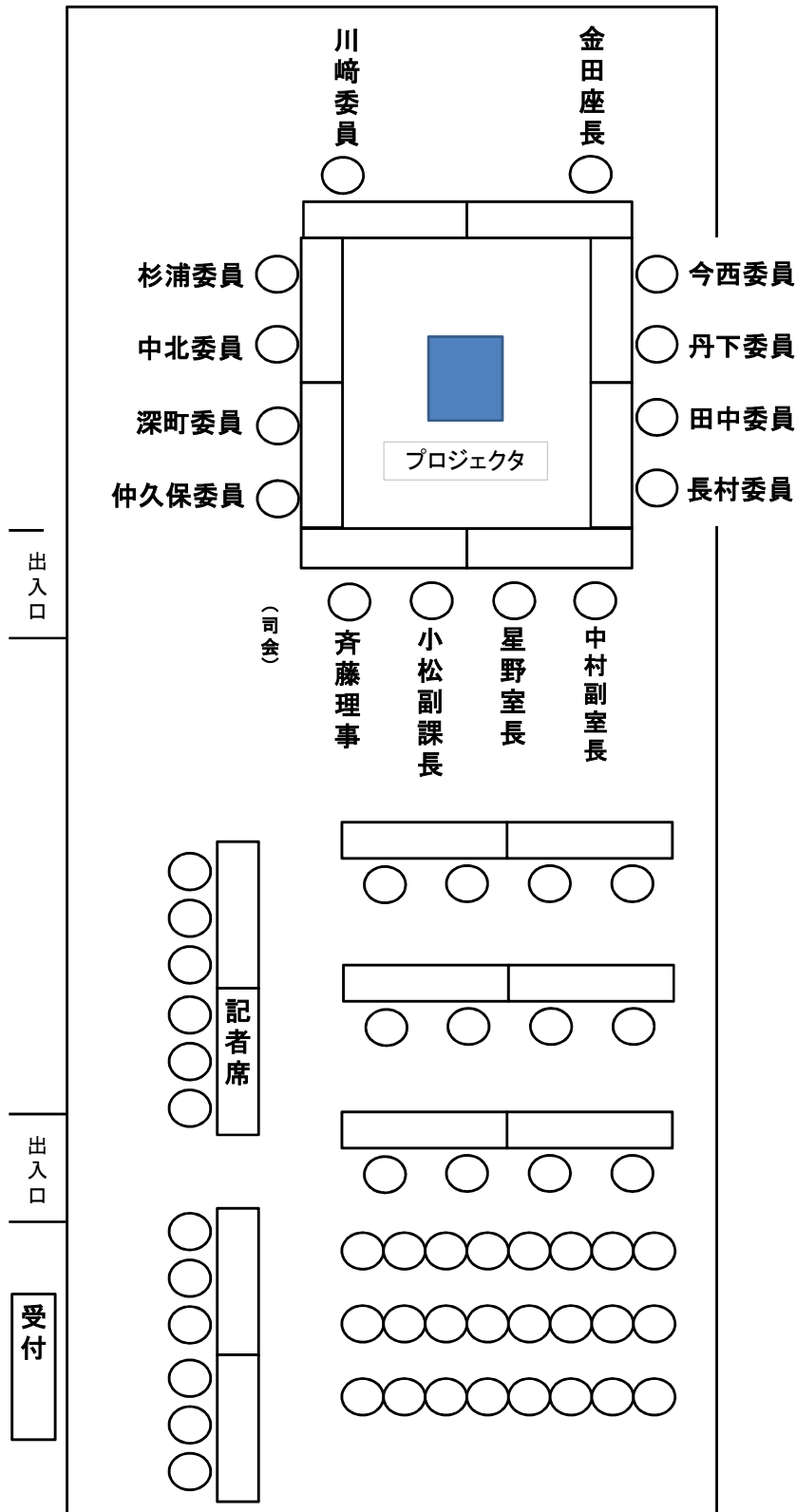
(2) 前回検討会以降の状況報告

(3) その他

4 閉 会

# 第6回上津屋橋(流れ橋)あり方検討委員会座席図

平成 28 年 1 月 26 日  
場所: やわた流れ橋交流プラザ



第 5 回上津屋橋（流れ橋）あり方検討委員会  
議事録（要約版）

1. 開会  
委員紹介

2. 議事  
配布資料確認

（1）第 4 回上津屋橋（流れ橋）あり方検討委員会（要約版）概要について  
事務局）資料－1 説明。

（2）これまでの検討を踏まえた詳細設計の確認及び挟木の形状について  
事務局）資料－2 説明。

【挟木の形状について】

座長）第一案・二案、現状の 3 つを提示しており、第一案 125mm の構造は、前回のよりもしっかりしている感じにみられる。第二案 250mm になると、橋脚というほどではないが、ちょっと囲ったな、という印象を受ける。わたし自身、子供たちに比べると 2 倍ほどの身長があるわけで、単純計算が通用するかわからないが、仮に 250mm なので身長が二倍だから 500mm になると、あくまで仮定なので通用するかどうかかわからないが、ちょっと囲ったな、という感じを受ける。子供たちから見てどう感じるのかが気になった。そこから覗いたり腰かけたりするということが起こらなければいいなど。子供たちの発想がどんなものか全然わからないが、子供からどういうふうに見えるのか少し気になった。

川崎委員）景観的には第一案のほうが現況と同じ感じですっきりしていると思う。おそらく自転車が通るときに、道路の縁石がだいたい 150mm なので、自転車がぶつかったときに乗り上がらない高さであれば安全なのかなと思われる。125mm あれば、乗上げるのは大変かもしれないので、125mm でも問題ないのかなと思うが、750mm 高くなるので、側面での注意というのが、どこかで書いておかれたほうがいいのか、十分注意して渡っていただくということを書いて頂きたい。もう一点、橋梁部のすりつけ部分は、構造的に土工部のところはコンクリートで作り、すりつけ部分は本体部分と一緒に木の材料と考えてよいか。

事務局）木ですりつける構造で作っていききたい。

【梁について】

杉浦委員）実物を見て受けた印象は、さきほどおっしゃられたように囲っているという感想である。安全なのだろうが、それに対する意識の持たせ方からすると、過剰な構造になってしまっている印象だ。従来通りの高さを若干上げるぐらいで、そんな大きくイメージ

を変えているわけではなく、乗り越えられる可能性を低減しているので、125mmのほうが景観的に見ても構造的視点からも、こちらのほうが良い形状なのでは。気になっているのが、脚の上の梁が非常に高くなっているのも、それとのバランスもあるのであまり高くしないほうが良いという印象を受ける。四角い梁は丸くできないのか。それもあわせて全体の橋の構造形式を見ていただきたい。

事務局) 丸であるという検討をしておりませんが、見えないところがあるのだが、たとえば面取りをするという方法はできると思うが、丸は難しいのではないかと。

座長) 丸と言っても完全な丸でなくてもいいわけで。たとえば丸い木材を考えた時に、上と下を平面にして側面に丸みを残すという種類の話かと思う。

杉浦委員) 前は 250mm ぐらいの高さのものが二段あったと思うが、いまは 500mm と 250mm で高く見えると思うので、ここをあまり印象づけたくないほうが良いのではないかと。横からを見れば、脚の上の梁が四角い形状にあるので丸みを帯びたほうが現状との印象が良いのではないかと思う。

座長) この梁は橋の方向に対して直角にあるとすると、切断面がみえてくる。

杉浦委員) それよりは丸みがあったほうが良いのではないかと。

座長) ご意見としては川崎委員、杉浦委員、わたしも含め、第一案のほうが相対的に良いのではないかという考えである。全体的に立ち戻って考えてみると、今回の委員会の直接のきっかけは、橋が流れたので、それをどうするのかというのが基本的なスタートであり、そのほかの重大事故が起こったので、それをきっかけにして事故の対応を考える委員会ではない。その結果が事故を誘発することになっては困るのだが、しかしながらご意見いただいているように注意事項などはいかにして周知するか、いろんな形で努力していただく必要がある。それがなければ景観上も構造上もあるいは不測の要素も加えないような第一案で良いのではないか。

委員一同) それでいいと思う。

座長) ご指摘のあった梁の断面が四角いよりは丸いほうが良いのではないかという件につきましては、それができるかどうか検討していただきたい。確かに、可能であれば、ハードな感じよりも柔らかい感じになっているのは確かだと思うので、検討していただいて、その結果を委員それぞれに通知して確認をするという形にしていただきたい。というのは、「出水期」、「渇水期」という言う方が正しいのかはわからないが、工事に適した間にあわせて発注して進めるためには、具体的な作業に入らないといけないということのようなので、もう一度会議をしているという余裕がない。十分にご検討をしていただいたと思うので、梁の形状については、ご検討いただいた上で、委員のほうに確認していただくということにしたい。

川崎委員) 500mm の梁が、厚いので丸というのはどうか。それから 500mm を半分に見せるために、250mm のところで少し切りかければ影の印象で変わるかもしれない。500mm が二段に分接すると、可能性としてはあるかも。構造上の無理のない範囲で、少し面取り

すると変わるかもしれない。

座長) 500mm の平面の梁があるよりは、少し丸みのある形とか半分の形のほうが自然にみえるかもしれない。梁の形状については圧迫感を和らげるという意味を含め、円形に近い形にするのが可能か、そうでなければ二段にするのがよいのか、ご検討いただきたい。

#### 【今後のスケジュール】

今西委員) これからのスケジュールを教えてください。

事務局) 木橋の挟木形状を決めていただいたが、これから設計に着手し、先ほど委員長の方からお話があった、出水期あけの 10 月中旬以降に現地の方に入り、来年 3 月の完成を目標にしたいと思う。

座長) 委員会といたしましては、何回にも渡りまして様々な観点からコメントをいただき結論を得ましたので、以上で終わらせていただきたい。

#### 【流れ橋を中心とした地域の情報発信・PR】

丹下委員) この間、5 回に渡り各委員の皆様にはご検討いただき、地元の住民が希望していた、木橋により復旧ということで、非常に有り難く思う。今後につきましては、流れ橋は貴重な観光資源であるので、今年 4 月には日本茶 800 年の歴史散歩ということで、山城全体のお茶の振興で地域活性化を図っていきたいと思う。この地域は、浜茶ということで、流れ橋と河川の茶畑が一体的な景観を保っている。地元だけではなく、来訪者にとっても非常に癒しを感じたりするような場所になっており、お茶の振興はもちろん、四季彩館、松花堂、若宮八幡宮、お茶に関連した施設などあるので、流れ橋に人が集まるようにしていきたい。昨年流出してから、四季彩館に訪れるお客さんが、年間 3 万人ベースと聞いており、流出してから約半分以下になっているということで、四季彩館の売上げも含め非常にダメージになっている。従いまして、来年 3 月に是非完成していただき、また昔の賑わい、それ以上に賑わいになるように、観光協会と連携して、これを広く PR していきたい。長い間、委員会の先生方にはお世話になりありがとうございました。

仲久保委員) 工事が 10 月から入るが、工事中も PR したいと思う。できたら、瓦版を四季彩館に置かせていただいたり、見学会をさせていただきたいと思う。完成した後は、いろんなところへ PR していきたいと思うので、これからも委員会の先生方の意見も聞かせていただきたい。

座長) 是非地元の特に小学生あたりが、橋の意味とか、ここ登ったら危険だよとかの教育を是非ともしていただければと思う。

### 3. 閉会

事務局) 本日の議事の概要につきましては、また公表させていただきたい。また、これまでの検討を踏まえ、本年度の出水期明けの10月中旬以降に、復旧工事の着手をしてまいりたい。工事中におきましても、できるだけPR等させていただきたい。座長をはじめ委員の皆様にはご協力いただき、お礼を申し上げたい。

(以上)


# 第6回 上津屋橋(流れ橋) あり方検討委員会

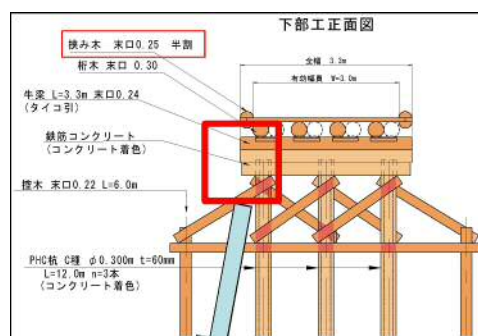
1

## 状況報告(概要)

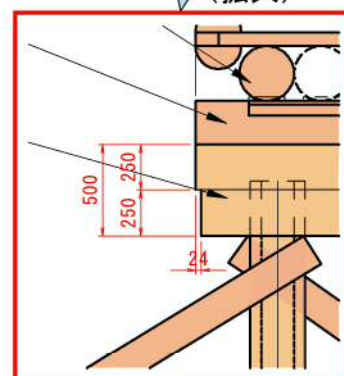
□第5回上津屋橋(流れ橋)あり方検討委員会以降の状況報告

### ○ 設計

- ・挟み木の形状を決定  
 ➡ 末口25cm半割材
- ・下部工コンクリート台座部分に段差を設置  
 ➡ 右図参照
- ・下部工杭・コンクリート部の塗装色の決定  
 ➡ (色見本) 



(拡大)



### ○ 工事発注

平成27年 8月6日 材料(桁木)発注  
 平成27年10月20日 復旧工事を発注

3月末完成に向けて工事実施中

2

# 発注概要

## □発注概要

### ○材料発注

桁木と挟み木の2種を発注

L=9.0m~10.0mの木材 = 京都府内産の杉(北山杉)

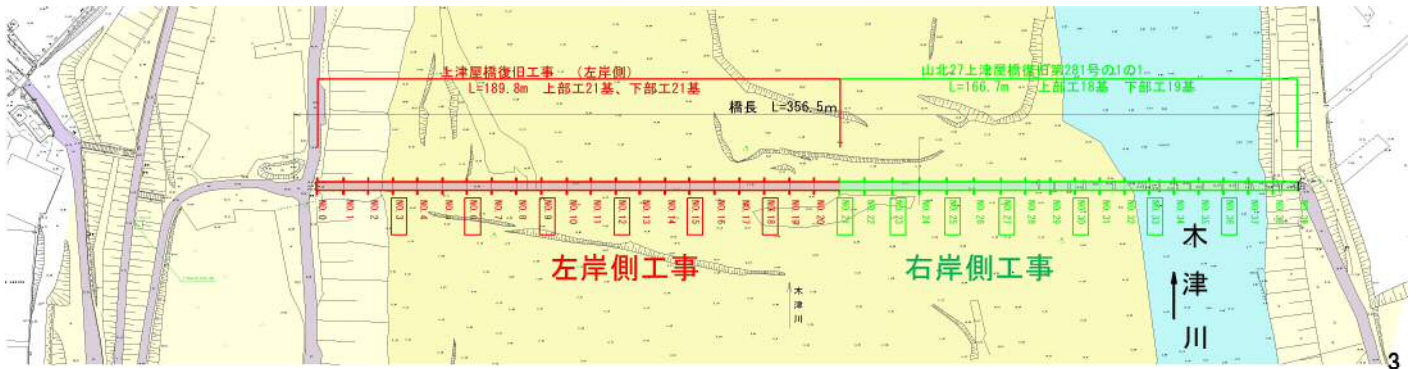
### ○工事発注

・工事進捗を図るため、左岸側と右岸側の2つに分けて工事を発注

・左岸側工事 橋脚21基 上部工21基

・右岸側工事 橋脚19基 上部工18基 仮設工(木津川瀬替)

上津屋橋 復旧工事 平面図



# 工事の状況報告1

## □ 木材加工

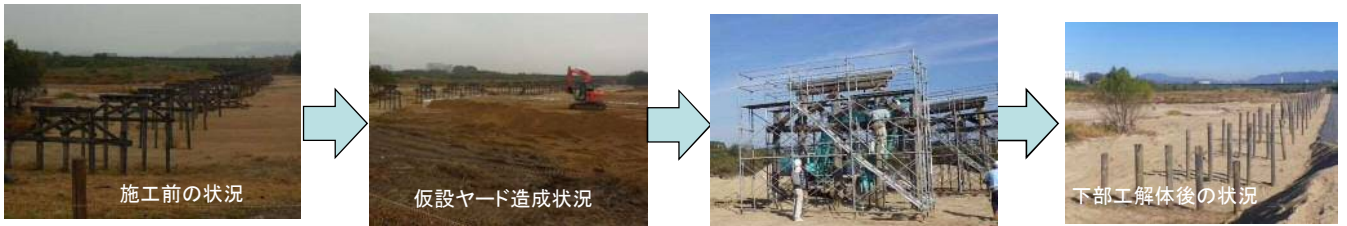
伐採、製材所搬入、加工、納品の状況



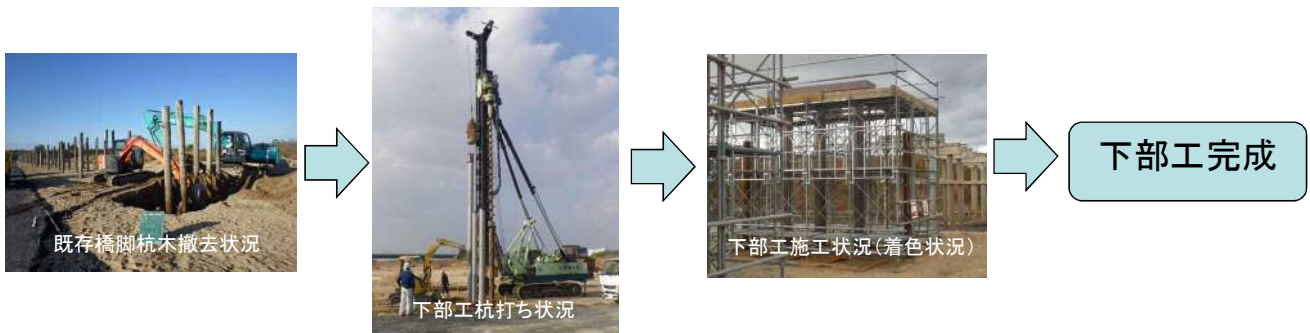


## 工事の状況報告 2

### □ 仮設ヤード造成、既存橋脚解体・撤去の状況



### □ 下部工設置: 杭打ち工、コンクリート台座設置、下部工組立の状況



5

## 工事の状況報告3

### □ 上部工設置: 工場加工、材料搬入、防腐剤塗布、組立、架設の状況



6

## □ 広報活動

- 全国建設技術協会における発表・現地対応
  - ・平成28年1月27日【地域事業の紹介②】  
八幡城陽線 上津屋橋(流れ橋)復旧事業について  
参加予定者 約440名
  - ・平成28年1月29日 現地説明  
参加予定者 約310名

## ○ 工事見学会の実施

- ・平成28年2月6日(土) 参加予定者147名

## ○ 小学校の工事見学会の実施

- ・地元 八幡市立有都小学校 5年生(28名)を対象
- ・2月中旬予定

第621回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 八幡城陽線 上津屋橋(流れ橋)復旧事業 ..... 京都府久御山町～八幡市

八幡城陽線上津屋橋は、京都府南部を流れる一級河川木津川に架けられた木造橋で、梅雨や台風等の豪雨により川の水位が上ると、橋板や橋桁が流れ出す独特の構造から、通称「流れ橋」と呼ばれています。本橋は、昨年8月の台風11号により被災・流出しましたが、近年、度々被災・流出することから、復旧に先立ち、上津屋橋(流れ橋)あり方検討委員会を設置し、今後のあり方や復旧方法について、幅広い意見を聴取しながら検討を行いました。事業効果としては、従来の景観を守りつつ、上津屋橋(流れ橋)を流れにくく災害に強い構造とし、災害による通行止めの頻度を減少させ利便性を向上します。

同委員会が検討した被災・流出頻度を改善する構造で復旧工事を行い、来年3月の供用開始を目指し、事業を実施しています。

(視察キーワード：災害復旧、橋梁構造の変更、景観への配慮等)



みんなから愛されている流れ橋の復旧に取り組んでいます。

### 流れ橋(上津屋橋)の工事現場見学会



平成24年9月9日の台風1号による被災状況 復旧のイメージ

八幡城陽線上津屋橋は、京都府南部を流れる一級河川木津川に架けられた木造橋で、梅雨や台風等の豪雨により川の水位が上ると、橋板や橋桁が流れ出す独特の構造から、通称「流れ橋」と呼ばれています。本橋は、昨年8月の台風11号により被災・流出しましたが、近年、度々被災・流出することから、復旧に先立ち、上津屋橋(流れ橋)あり方検討委員会を設置し、今後のあり方や復旧方法について、幅広い意見を聴取しながら、検討を行いました。事業効果として検討した被災・流出頻度を改善する構造で復旧を進めている工事を皆様にご覧いただく「工事現場見学会」を下記日程を行います。ぜひ、ご参加ください。

○日時：平成28年2月6日(土) 雨天中止  
 ○集合場所・開演：やわた流れ橋文芸プラザ四喜茶屋 【午後の部 10:00～11:30 午後の部 13:00～14:30】  
 ○内容：①工事概要説明(やわた流れ橋文芸プラザ四喜茶屋) 【午後の部 10:00～ 午後の部 13:00～】  
 ②流れ橋の工事見学会(現地) 【午後の部 10:30～ 午後の部 13:30～】  
 ○参加人数：午後の部 前30名、午後の部 前30名(参加の都合は辞退でOK!)  
 ○申込方法：参加費・参加費の名称、「参加費全員の氏名」、「代表者の住所・〒番号・電話番号」、「午後の部は午後」、「お申し込みの欄」を記載の上、ハガキまたはFAXにてお申し込みください。  
 (詳しくはホームページ：http://www.gntc.co.jp/press/press/2016/02/06.html) また、お申し込みの欄に「参加費」を記載ください。  
 ○お問い合わせ先：京都府建設土木事務所、八幡 総務科 八幡市 久御山町

参加無料

## 工事見学会の案内

## 全国建設技術協会の資料

# その他の広報活動等

## ○ 上津屋橋(流れ橋)工事通信の発行

- ・毎月1回発行、これまでに3回発行  
(H27.11月～H28.1月)
- ・地元3市町 八幡市中区、城陽市上津屋区、久御山町佐山自治会の約490戸回覧・配布

## ○ 被災状況記録のため、ドローンによる空撮の実施



### 上津屋橋(流れ橋)工事通信 第3号 平成28年1月

京都府山城北土木事務所 道路計画室 0774-62-1731

今年は大秋がとても良いので、上津屋橋(流れ橋)の復旧工事も順調に進んでいます。昨年未から、橋脚の杭を設置する工事を始めましたが、今月末からは、橋桁や橋板を載せていきますので、復旧後の新しい橋の姿が少しずつ見えるようになる予定です。また、たくさんの方に、この橋や工事のことを知ってほしいので、2月6日に工事見学会を行います。今、現場では完結に向けて色々な作業をしています。3月末には皆さんに選んでもらえるようがんばっています。

ご不便をおかけして申し訳ありません。

今の工事で地面に入れた橋脚の杭。今はコンクリートの骨ですが、木に替わって色を塗り直します。

橋脚となる杭打ちの様子。ドリルで地面を掘り、杭を入れて、最後に上から叩いて地面に圧入していきます。

現在の流れ橋の状況(1月12日)

私の上り橋の上を走る台を作っています。今月末には橋桁や橋板を載せる予定です。

橋の上で使う「鉄筋」です。これが今回購入した北山鉄です。

## 今後の予定

- 上津屋橋の本体復旧工事  
平成28年3月末復旧予定
  
- 今後の上津屋橋周辺の整備
  - ・河川内のアプローチ道路の自然色舗装の整備
  - ・上津屋橋周辺の看板整備と広域的な観光案内看板整備
  - ・木津川左岸堤防上の京都八幡木津自転車道線における上津屋橋周辺の整備
  
- 広報資料の作成と管理
  - ・今回復旧した上津屋橋に関する説明資料の作成
  - ・流出過程を復元する模型作成
  - ・ホームページの作成
  - ・地元との協働体制の構築